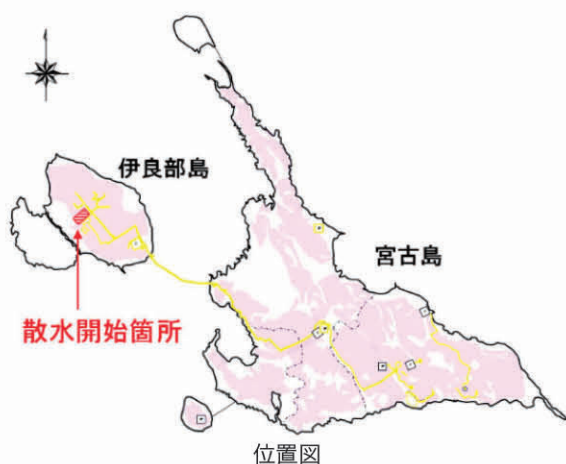




伊良部島でスプリンクラーによる散水を開始

～地下ダムによる農業用水の安定供給が実現～



令和3年8月2日、国営かんがい排水事業「宮古伊良部地区」の受益地の一部である伊良部島で散水式が開催され、受益者をはじめ、宮古土地改良区、沖縄県、沖縄総合事務局等の関係者約40名が出席しました。散水式では、主催者挨拶、来賓者祝辞に続き開栓セレモニーが行われ、その後散水が開始されました。

伊良部島では、大部分の農地は降雨に依存しており、島全体の必要水量を供給する水源が不足しているため、気象に大きく左右される農業経営を余儀なくされてきました。

このため、伊良部島における農業用水の安定的な供給を図ること等を目的として、平成21年度から国営かんがい排水事業「宮古伊良部地区」を実施しています。本事業では、事業効果の早期発現を図るため、仲原地下ダムの整備をはじめ、伊良部大橋橋梁内にパイプラインを整備しました。併せて関連事業により畑地かんがい施設等の整備が進められ、令和3年7月までに県営「魚口地区」の一部農地においてスプリンクラーが整備されました。

今後、伊良部において畑地かんがい施設が順次整備されることによって、農業経営の安定化と施設園芸などの高付加価値農業の展開が期待されます。



開栓セレモニー



散水の様子

お問合せ先
宮古伊良部農業水利事業所
☎ 0980-7513290